

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第4区分
 【発行日】令和3年4月8日(2021.4.8)

【公開番号】特開2020-161203(P2020-161203A)
 【公開日】令和2年10月1日(2020.10.1)
 【年通号数】公開・登録公報2020-040
 【出願番号】特願2019-61238(P2019-61238)
 【国際特許分類】

G 1 1 B 5/71 (2006.01)
 G 1 1 B 5/738 (2006.01)
 G 1 1 B 5/735 (2006.01)
 G 1 1 B 5/78 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 5/71
 G 1 1 B 5/738
 G 1 1 B 5/735
 G 1 1 B 5/78

【手続補正書】

【提出日】令和3年2月19日(2021.2.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

式1で表されるアルキルエステルアニオンのアンモニウム塩構造を有する化合物を形成するために使用可能なポリアリルアミンの重量平均分子量は、例えば200以上であることができ、1,000以上であることが好ましく、1,500以上であることがより好ましい。また、上記ポリアリルアミンの重量平均分子量は、例えば15,000以下であることができ、10,000以下であることが好ましく、8,000以下であることがより好ましい。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0042】

式1で表されるアルキルエステルアニオンのアンモニウム塩構造を有する化合物として、ポリアルキレンイミンまたはポリアリルアミン由来の構造を有する化合物が含まれることは、磁性層表面を飛行時間型二次イオン質量分析法(TOF-SIMS: Time-of-Flight Secondary Ion Mass Spectrometry)等により分析することによって確認できる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0135

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0135】

【表 1 - 3】

表 1 (続き) : SrFe₂使用の実施例・比較例

	磁性層形成用組成物						評価結果			
	成分 1			成分 2			磁性層 表面の 水接触角	繰り返し 走行後の 摩擦係数	摩耗性	繰り返し 走行前後の 磁性層表面 形状変化
	強磁性 粉末	種類	含有量	種類	含有量					
実施例24	SrFe ₂	ポリエチレンイミン (Mn300)	2.0 部	ステアリン酸	0.5 部	90°	B	A	B(30%)	
実施例25	SrFe ₂	ポリエチレンイミン (Mn1200)	2.0 部	ステアリン酸	0.5 部	90°	A	A	A(10%)	
実施例26	SrFe ₂	ポリエチレンイミン (Mn1800)	2.0 部	ステアリン酸	0.5 部	90°	A	A	A(5%)	
実施例27	SrFe ₂	ポリエチレンイミン (Mn600)	2.0 部	ドデカン酸	0.5 部	85°	B	A	B(35%)	
実施例28	SrFe ₂	ポリエチレンイミン (Mn600)	2.0 部	パルミチン酸	0.5 部	90°	B	A	B(30%)	
実施例29	SrFe ₂	ポリエチレンイミン (Mn600)	2.0 部	ステアリン酸	0.5 部	90°	A	A	A(20%)	
実施例30	SrFe ₂	ポリエチレンイミン (Mn600)	2.0 部	ステアリン酸	1.3 部	95°	A	A	A(10%)	
実施例31	SrFe ₂	ポリエチレンイミン (Mn600)	2.0 部	ステアリン酸	4.0 部	95°	A	A	A(10%)	
実施例32	SrFe ₂	ポリエチレンイミン (Mn600)	2.0 部	ヘプタデカフルオ ロノナン酸	0.5 部	98°	B	A	B(35%)	
実施例33	SrFe ₂	ポリアリルアミン (Mw1,600)	2.0 部	ステアリン酸	0.5 部	90°	A	A	A(20%)	